



偏差値のお話



7月の進研模試の結果が返ってきました。後(うしろ)くんと田ノ中(たのなか)さん、そして藤(ふじ)くんが、今回の結果について話をしています。

後「…数学の偏差値が38だったよ。やばいらしいんだけど、どう思う？」

田「何を言っているの！？理系目指しててそれは危機感無さすぎでしょ。私は65だったよ。」

後「65かあ。でもそれくらいなら『ちょっと良い』くらいじゃないか。

100点のテストで65点みたいなもんでしょ？」

藤「何を言っているんだい。偏差値65はかなり良いぞ！何せ上位6~7%に位置しているんだから！！

全国の受験者が30万人くらいだとすると、だいたい2万番目くらいじゃないかな。」

田「2万番目くらいか〜。ピンと来ないけど、上位7%って良い響きね。」

後「上位7%！？そんなに上なの？」

藤「後くんの偏差値38だと、上位で考えると分かりづらいから下から考えようか。

下位11~12%くらいかな？

ちなみに僕の偏差値は80だったから上位0.1%にいることになる。

そうすると、30万人中400位くらいだね。」

田「そんなことまで分かるんだ！偏差値ってすごいんだね。(藤くん、イヤミ？天然?)」

後「下位10%……ぼくってそんなにやばかったんだ……まずい……勉強しなきゃ……」

藤「偏差値を使うと、全受験者のなかのどこに位置しているか分かるんだよ。

点数よりも大切だから、模試を受けた後は偏差値をしっかりと確認しないと。」

後「ぼくは下位10%……」

藤「後くん、落ち込んでる暇があったら、勉強した方が良いよ。

模試で解けなかった問題を解き直すことで、実力って付いていくもんだよ。

解けなかった問題をそのままにしておくと、出来ない問題がどんどん増えていくだけだからね。」

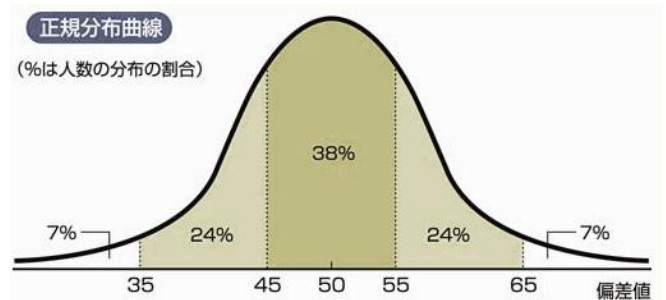
田「そっか、復習って大事だもんね。」

後「できなかったところが多すぎて、やる気が起きないよ〜〜〜」

藤「そんなこと言っていると、

次の模試はもっと偏差値下がるんじゃない？」

田(藤くん、厳しい……)



※学校推薦型選抜や総合型選抜を
考えている人は、右の表⇒⇒
も理解しておきましょう。

$$\begin{aligned} \text{全体の評定平均値} &= \frac{\text{すべての教科・科目の評定の合計}}{\text{すべての評定数(科目数)}} \\ \text{(例)} &= \frac{(\text{国語評定}3+3+5+4)+(\text{地歴}5+3+4)+\dots}{(\text{国語}4\text{科目}) + (\text{地歴}3) + \dots} \\ &= \frac{\dots(\text{保体}4+3+4+5)+\dots(\text{家庭}5)}{\dots(\text{保体}4) + \dots(\text{家庭}1)} = \frac{116}{30} = 3.9 \end{aligned}$$